



1 まちづくりの取り組みを説明する太田町長  
2 各団体との意見交換



**参加団体**  
(11 団体)

町内会長連絡協議会、農業委員会、消防団、生活環境推進員協議会、民生児童委員協議会、健康推進員協議会、体育協会、文化団体連絡協議会、商工会、婦人会連絡協議会

**主な意見**

- ・町内に働く場所の確保が必要ではないか。
- ・イノシシなど有害鳥獣対策について引き続きの支援をお願いしたい。
- ・福島大学食農学類との連携に積極的に取り組んでほしい。
- ・高齢者の足として「まちなかタクシー」は必要なもの。利用時間の延長を望む。
- ・観月台文化センターを、町民として多くの人々がもっと利用すべき。
- ・商店街の空き店舗について、現状を把握して活用していくべき。

町では、お寄せいただいた要望や意見をもとに、引き続き国や県と連携しながら、安心・安全で笑顔あふれるまちづくりを進めていきます。

「町長と対話の日」開催

これからの国見町を考えよう！

くにみの日プレ事業「町長と対話の日」が8月24日、観月台文化センターで開かれました。「これまでの国見町の歩み・これからの国見町の歩み」と題して道の駅オーブンや歴史まちづくり事業など、復興関連事業の取り組みを説明しました。続いて、町内会長や婦人会など各種団体の代表と町長が懇談を行い、これからの国見町を考える日となりました。



いざという時に備える

令和元年度 国見町各地区防災訓練

災害はいつどこで起こるか分かりません。その脅威から自分の身や財産を守るのは、日頃からいざという時に「備える」ことです。

- ① 町消防団の放水訓練
- ② 火災で発生する煙を体験
- ③ 起震車で地震の揺れを体験
- ④ アルファ米の作り方をみんなで確認
- ⑤ 応急救護について学ぶ
- ⑥ 防災講話

9月の防災月間に合わせて、9月8日、町内6地区で行われました。訓練は、地区ごとに地震や土砂崩れ、洪水などの災害を想定して行われました。防災行政無線で避難勧告が放送されると、町民のみなさんは町内会ごとの一時避難場所に避難し、初期行動の再確認を行いました。その後、各地区中央集会所などに会場を移し、初期消火訓練や応急救護訓練、起震車体験、煙体験、赤十字奉仕団や婦人会による炊き出し、町消防団の放水訓練などを行いました。参加者は真剣な表情で訓練に臨み、訓練を通して、日頃からの備えの大切さを再認識し、町全体が防災意識を高める一日となりました。

名前は「アカリ」 駅前に新たな交流拠点誕生

町が所有する旧藤田駅前倉庫の改修工事が完了し、9月28日に竣工・引渡式が行われました。

今回の改修は、町が民間事業者と協働で町所有の遊休施設の有効活用とまちづくりの拠点づくりを目指して取り組んだ事業で、生まれ変わった施設の名称は「アカリ」です。

竣工・引渡式では、太田久雄町長から「アカリ」を運営する株式会社家守舎桃ノ音の上神田健太代表取締役が鍵のレプリカが渡され、出席者の代表によるテープカットで竣工を祝いました。

「アカリ」は10月10日にグランドオープンし、地域食材を活用したイタリアンレストランやシェアオフィスに加え、人材育成のための学びのスペースも備えます。



鍵引渡しを行う太田町長(右)と上神田代表取締役(左)



新しく生まれ変わった倉庫内部を見学

**CHECK!**

あなたのお家の防災行政無線は大丈夫ですか？

防災行政無線(個別受信機)を設置しているものの、「聞こえづらい」「壊れてしまった」など不具合が発生した場合や、新たに設置を希望する方は、環境防災課まで連絡ください。

防災行政無線は、災害などの非常時に必要な情報を知るための貴重な手段のひとつです。日頃から確認しておきましょう。

環境防災課環境防災係 ☎ 585-2116